

2014 年度 日本学生支援機構 大学院第一種奨学金 「特に優れた業績による返還免除制度」のお知らせ

大学院第一種奨学生のうち、下記の申込要件を満たす者は、申請により選考のうえ認定されると、当該課程で受給した第一種奨学金（全額または半額）が免除されます。

返還免除者数は、下記の申込要件（概要）の「1. ①申込資格」を満たす奨学生の30%程度（予定）と多く、本学における前回（2013年度）返還免除認定者数は下表のとおりでした。

また、当該課程在学中における学内および学外での（専攻分野に関する）教育研究活動・学業の成果・業績が対象になり、論文や学会発表等も業績となる場合がありますので、この制度にチャレンジすることをお勧めします。

（参考）早稲田大学における2013年度 返還免除認定者数

	修士課程	博士後期課程	専門職学位課程
申込対象の奨学生数	865 人	117 人	238 人
免除認定者数（全額または半額）	263 人	36 人	74 人

○「申込要項」の配布開始 申請方法・日程など詳細の発表

12月下旬（予定）
所属研究科事務所

※申請希望者は、必ず所属研究科の掲示板・HP等を確認し、所属の研究科事務所で「申込要項」を受け取り、所定期間に申請してください。

【注意】申請できるのは、奨学金の貸与が終了する年度に限りです。

課程修了時ではありませんので、十分に注意してください。

~~~~~ 申 込 要 件（概要） ~~~~~

### 1. 申込資格 : 次の①②を全て満たす者

①2004年度以降に採用された大学院第一種奨学生で、**2014年4月～2015年3月**の間に貸与終了する（した）者（2015年3月末までの満期終了者、2014年9月修了者・短縮修了者、辞退者等）。

\*2015年度日本学術振興会特別研究員や本学助手に採用され、本奨学金を辞退する場合でも、免除申請できるのは今回限りです。同研究員や助手の採用が少しでもありえる方は十分注意してください。

\*満期終了以外の貸与終了者は、奨学課にて「異動願」等の提出手続を行なっていることが必要です。未手続きの場合は申込資格がありません。

②在学する当該課程において、自分の専攻分野で、裏面「3. 返還免除の対象業績一覧」のうち所属研究科の定める<<対象業績>>に該当する業績（学内および学外）をあげた者。

### 2. 返還免除額

選考は、所属研究科で学内および学外の業績について総合的に評価を行い、大学の選考・推薦を経て、日本学生支援機構が最終的に返還免除者および免除額を決定します。

（参考）返還免除のモデルケース：2013年度入学者が入学時から奨学金を受け、満期終了する場合

| 課程区分         | 貸与月額（貸与総額）             | 全額免除額       | 半額免除額       |
|--------------|------------------------|-------------|-------------|
| 修士課程・専門職学位課程 | 88,000 円（2,112,000 円）  | 2,112,000 円 | 1,056,000 円 |
| 博士後期課程       | 122,000 円（4,392,000 円） | 4,392,000 円 | 2,196,000 円 |

### 3. 返還免除の対象業績一覧

下表1～9の項目のうち**所属の研究科で定める業績（学内および学外）が《対象業績》**となります。  
自分のあげた業績が、《対象業績》に該当するか否かは、所属する研究科に確認してください。

【注意】自らの業績が所属研究科の定める《対象業績》でない場合、下表の業績であっても申込資格はありません。

#### 返還免除の対象業績一覧

| 業績の種類 |                                    | 日本学生支援機構が定める評価基準                                                              |
|-------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1     | 学位論文<br>その他の研究論文                   | 学位論文の教授会での高い評価、関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載又は表彰等、当該論文の内容が特に優れていると認められること。         |
| 2     | 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果     | 特定の課題についての研究の成果の審査及び試験の結果が教授会等で特に優れていると認められること。                               |
| 3     | 著書、データベースその他の著作物<br>（前項2に掲げるものを除く） | 前項2に掲げる論文等のほか、専攻分野に関連した著書、データベースその他の著作物等が、社会的に高い評価を受けるなど、特に優れた活動実績として評価されること。 |
| 4     | 発明                                 | 特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得ていると認められること。                                        |
| 5     | 授業科目の成績                            | 講義・演習等の成果として、優れた専門的知識や研究能力を修得したと教授会等で高く評価され、特に優秀な成績を挙げたと認められること。              |
| 6     | 研究又は教育に係る補助業務の実績                   | リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等による補助業務により、学内外での教育研究活動に大きく貢献し、かつ特に優れた業績を挙げたと認められること。  |
| 7     | 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会<br>における成績        | 教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における発表会等で高い評価を受ける等、特に優れた業績を挙げたと認められること。              |
| 8     | スポーツの競技会における成績                     | 教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な競技会等で優れた結果を収める等、特に優れた業績を挙げたと認められること。          |
| 9     | ボランティア活動その他の社会貢献<br>活動の実績          | 教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的に高い評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績であると評価されること。      |

★本制度に関する相談や質問等は  
奨学課までお問い合わせください

早稲田大学 学生部奨学課 [月～土 9:00～17:00]  
(土曜日 12:30～13:30、日曜・祭日は閉室)

TEL 03-3203-9701

E-Mail [menjo@list.waseda.jp](mailto:menjo@list.waseda.jp)